

~~一六~~
錯
手
書
は
右
邊
用
の
卷
紙
手
稿
に

白
目
と
朱
筆
を
い
つ
て
書
き
加
え
ら
れ

た
る
と
ころ
を
封
印
せ
よ
う
と
し

大
部
本

ません。諸君が十六日に投票所に行かれ、投票用紙に候補者の氏名を書く時の。その瞬間に萬事が決するのであります。實に一分間足らずの間に東京市政を生かすか殺すかが定まるのであります。市民諸君——私は、諸君が此の大切な瞬間に於て、自己の正しき判断が何者にも縛られず、自己の良心がミヂンも自己をせめない様に投票せられることを信じ、且つ之を祈ります。現在立候補してゐる二百何十名の中から、自分の判断で一番適當と考へる人物に投票することは、何人にも妨げられてはなりません。この判断を誤らず、この自由を完全に守つて行くことは、實に市民としての義務であり、又誇りであります。

市民諸君——繰返して申しますが、亂脈を極めた東京市政を建て直す第一番の役目は、市民の勤めるところであつて、而かも第一番にその役目を勤める機會は明後日であります。一度び、この機會を逸して、市政淨化の失敗者となるならば、我々市民に自治の能力なしと罵られても、辯明の餘地が無いてあります。

曾て英國ロンドンの市政は、久しも淨化の要求が叫ばれておつたのでありますが、市民の自覺と其力とが、遂にその目的を達して、市政を美しきものに致しました。

又米國ニューヨークの市政も長らくの間、一部の不正なる團體に左右されておつたが、市民の奮發に依つて、之を改めることができました。之等の顯著なる實例の外にも、多くの市政改革運動は、市民の自覺のみに依つて、成功しております。

市民は斷じて何物も頼りにしてはなりません。自分の力のみが、市政改革の御本尊であることを十分に覺悟したのであります。

私は十六日の選舉の結果に付て、市民一同が満足の出来るやう、お互に自重せられんことを心から念ずる次第であります。